

令和2年度 東海・北陸地域国際化協会連絡協議会
「災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修・訓練事業」実施報告

ブロック	東海・北陸ブロック	幹事団体	一般財団法人静岡市国際交流協会
開催日時	2020年11月18日（木）10時30分～17時00分		
研修のねらい・目的	<p>災害多言語支援センターでの活動を実際に行ってみることにより、災害時における外国人住民支援を円滑に行うために必要な事前準備事項を明らかにし、今後の災害に備えようとするものです。</p> <p>災害時に準備すべき事項は、たくさんありますが今回の研修ではとりわけ次の事項を明らかにすることをねらいとします。</p> <p>①実地研修を通して災害時の外国人支援のイメージを明確にする。 ②イメージを明確にしたうえで、地域国際化協会としての課題、広域連携の課題を探る。 ③新型コロナ禍における支援活動のあり方を探る。</p>		
想定災害等	<p>「静岡市」で発生した「地震災害」で被災した外国人住民への支援活動を行うこととします。</p> <p>○地震の発生日時・震源地・規模等については以下のとおりとします。</p> <p>① 発生日時 令和2年11月18日（水）午前6時40分 ② 震源地 静岡市 ③ 地震の規模 マグニチュード7.2</p> <p>（1）災害多言語支援センター開設準備および関係団体への伝達 ①開設前の準備 ②関係団体への伝達</p> <p>（2）災害多言語支援センター開設・運営 大規模地震の発生により、静岡市内を中心に大きな被害が発生しているため、静岡市国際交流協会が設置した「静岡市災害時外国人情報支援センター」の運営に、それぞれの地域から遠隔により支援に携わることとします。</p>		
会場・場所	静岡県男女共同参画センター「アザレア」2階 大会議室、ZOOM 併用		
参加者	地域国際化協会東海・北陸ブロック構成団体、東海・北陸地域の地方自治体 50名		
研修内容（概要）	<p>10:30～10:40 <主催者あいさつ> ① 一般財団法人自治体国際化協会 ② 一般財団法人静岡市国際交流協会</p> <p>10:40～11:40 <講義> CLAIR 災害時外国人支援アドバイザー 勝谷 知美 氏（一財）熊本市国際交流振興事業団</p> <p>11:40～12:00 <説明> 静岡県災害多言語支援センターについて 静岡県くらし・環境部県民生活局多文化共生課</p> <p>12:00～13:00 昼食休憩</p> <p>13:00～13:20 <多言語支援センター設置・運営訓練> 説明 多言語支援センター設置・訓練の進め方 CLAIR 災害時外国人支援アドバイザー</p>		

高木 和彦 氏

(特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会)

13:20～13:50 <災害多言語支援センター開設準備および関係団体への伝達>

- (1) センター開設にあたっての協議
- (2) 災害多言語支援センター開設準備

13:50～16:00 <災害多言語支援センター開設・運営>

スタッフ間で役割分担を行い作業を進める。また応援団体に対し遠隔応援を依頼する。

- (1) センター開設の広報
- (2) 東海・北陸ブロックへの応援要請
- (3) 災害情報・支援情報の確認
- (4) 外国人避難者の状況確認
- (5) 災害情報・支援情報の多言語化
- (6) 応援団体からの情報の取りまとめ

【各応援団体】

- ※各応援団体も ZOOM により総務班・情報班の活動に参加
- ※全体コーディネートは公益財団法人名古屋市国際センター
- ・被災地からの翻訳、通訳要請への対応
- ・応援可能内容（項目）の取りまとめ及び被災地への報告
- 災害情報コーディネーター、通訳者の派遣可否、翻訳、通訳対応言語 等

16:00～16:55 (7) ふりかえり

参加者間の情報共有と総括

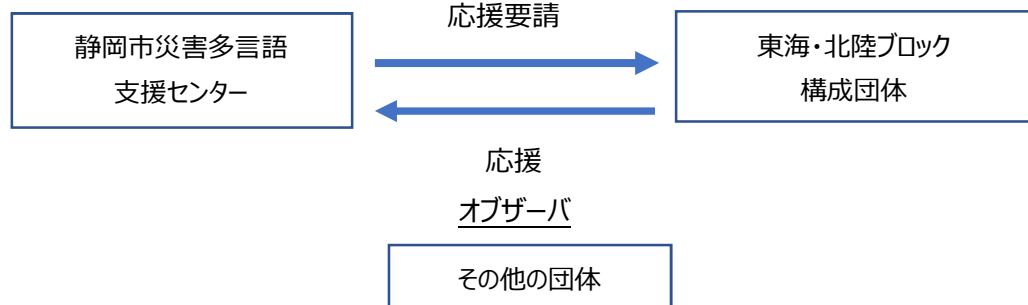
16:55～17:00 <閉会のあいさつ>

17:00 終了

《災害多言語支援センター設置・運営訓練 実施イメージ》

多言語支援センターの設置・運営主体

応援団体



研修内容
(写真)

<講義>

CLAIR 災害時外国人支援アドバイザー

勝谷 知美 氏 (一財) 熊本市国際交流振興事業団

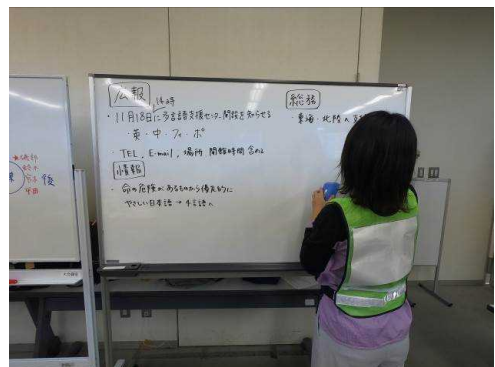


<説明> 静岡県災害多言語支援センターについて

静岡県くらし・環境部県民生活局多文化共生課



<災害多言語支援センター開設・運営>



アンケート集計 (抜粋)

ご回答人数：30人

1. 今回の研修に参加されたご感想をお聞かせください。

<input type="checkbox"/> 大変満足している	5人
<input type="checkbox"/> 満足している	17人
<input type="checkbox"/> 普通	5人
<input type="checkbox"/> やや不満	3人

【理由】

- 一時回線の状況が悪い時があり、判りにくい箇所もあったが、災害対応の仕方についてみる事が出来てよかった。
- 避難所に訪れた外国人に対し、電話等を使ってどのように支援（通訳）するのかのイメージが持てるようになっていたが、できなかった。
- ネット環境の影響はあると思いますが、機器のトラブルにより、講師の方のお話が途中で途切れてしまい、話が分からなくなったり、繋がっていても音質が悪く、講義に集中するには難しい状況でした。しかしその対応に関して、役割分担されているのはよく伺え、都度のトラブル対応に関しては素早く行っていただいていたのは、こちらも勉強になりました。
- 当センターも大規模災害時は多言語支援センターを立ち上げることになっている中で、マニュアルの整備や訓練は重ねているが、外部からの問い合わせの対応は明確になっていないので参考になりました。
- 災害時多言語支援センターの具体的な設置や状況について視覚的にみたことがないので、いろいろなことに気が付けたことが良かった。例えば、実際に支援センターを設置するとなると、結構なスペースを確保しなければならないこと、避難を求める外国人がやってきた場合はどうするのか、など、検討が必要ながみえてきました。
- 実際の災害時の対応や他県の支援センターの詳細を知ることができ、自分たちの災害時多言語支援センターに役立てたいと思った。午後は災害時の多言語支援センターの設置・運営訓練に遠隔からどのように携われるか期待していたが、見学のみということで少し残念に感じた。
- 試行錯誤を繰り返しながら、実践的に訓練ができていたことがすばらしかったです。
- オンライン参加者も研修会終了後のふりかえりに参加し、訓練によって見えてきた課題の共有ができれば良かった。
- 午前中の講義は勉強になったが、午後からの多言語支援センターの開設訓練はZoom でなにをしているか分からず終わってしまった。Zoom の使い方は簡単そうで難しいこともあるなと感じました。

2. 本研修講師へのご感想をお聞かせください。

<input type="checkbox"/> 良く理解できた	15人
<input type="checkbox"/> 理解できた	13人
<input type="checkbox"/> あまり理解できなかった	2人

【理由】

- 実際に運営され肌で感じた体験を赤裸々に語って下さり、運営上の難しさや工夫について学ぶことができ、有意義だった。大人数で集まるのが難しい昨今の状況下で、事前

に資料をダウンロードして、講演を聴くというスタイルでも快適に学ぶことが出来た。通信環境については難しい点もあるが、講師の方は回線落ちからの復帰後も上手く対応されており、総じてボリューム・話す速さは聞きやすい声で、時間も丁度良かった。

- 関係者が非常に多く、事前の打ち合わせや連絡に手間取ることが多かった。役割分担が明瞭ではなく、もっと早くから準備を進めておけたらよかった。
- 避難時を開設した際に宗教や文化の違いにより、食事やお祈りの時間・場所に理解が必要であると痛感しました。実際にそういった経験がある方のお話は貴重ですごくためになりました。
- 午後の支援センター立ち上げ実地研修では、事前に用意したシナリオに沿って行う訓練ではなく、リアルな模擬訓練となったと思う。想定外の自分の役回りには驚いたが、これが講師が意図した有事にどう対応するかという実地訓練なのかと理解しました。

3. 今後、開催して欲しい研修等ございましたら、ご意見をお聞かせください。

- 県と市で、対応できることが異なるように思う。県のセンターの実体験も聞きたい。
- 同じような訓練を繰り返したいです。今度は実際に、発震したエリアと会長県を別にして、会長県が要請をとりまとめて実際にブロック内の協会へ投げて、回答集約する、というコーディネート部分をメインに訓練をしたいです。
- 静岡は水害も今後起こりえるので、それに備えるために研修もしておきたい。
- Zoom 以外のツール・アプリを使った研修。(Google Drive/Document、Slack など)
- 災害時多言語支援センターを設置・運営するために必要な事前準備やノウハウ習得等の研修
- 今回、立ち上げ時の初動訓練を行いました。発災後数日経過後の想定訓練をお願いしたい。また体験談として外国メディアを含めたマスコミ対応が手間になったとのことや外国からの安否確認が多かったとのこと、そのあたりの対応についての研修もお願いしたい。

4. その他、ご意見・ご要望をご自由にお書きください。

- 午後の多言語支援センターの実践については、映像だけでなく、音声も流してもらえるとよかったです。具体的に講師からどのようなアドバイスや指示がでたのかや、受講者が何に困っていたかなどを知ることができるため。
- 外国人に限らずすべての要支援者対応に生かせる重要な研修だと思いますので、もっと多くの自治体に参加すると思います。トラブルも勉強になりました。ありがとうございました。今回は、構成団体でないにもかかわらず実際に訓練に参加でき、貴重な体験をさせていただきました。規模はちがいますが、今回の内容を参考に、当市での災害時の外国人対応を再検討していきたいです。

以上